

事業実績報告書

様式 2
 (2018年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-69	講座名	環境カウンセラーと行く『セントレアまるごとウォッチング2018』
記載日		団体名・企業名	環境カウンセラー岡本明子
<講座全体の概要>(300字程度)			
セントレアを以下の視点から見学、身近な施設に環境の種があることを知る。特に、海外旅行や外国人観光客誘致の裏に隠れるリスクを学ぶ。1.環境配慮：【中部空港株式会社】セントレア島の形、自然との共生、【エネルギー供給会社】エネルギーの効率的な利用。2.水際対策：【CIQ機関：税関・入国管理局・検疫所・動物検疫所・植物防疫所】水際対策、【国際郵便局】国際郵便物の水際対策。3.安全：【航空気象台】飛行機の安全な運行のために存在する気象台、【海上保安庁】セントレアから海を護る。【動物検疫所中部検査・診断センター】鳥インフルエンザ対応可能なBSL3（バイオセーフティーレベル3）			
<写真添付スペース(1~2点)>			
			
※写真1の説明 貨物地区内の水素ステーションの見学		※写真2の説明 海上保安庁ヘリコプター『かみたか』の前で	
<企画・運営者の声(感想)>(350字程度)			
毎年恒例となったセントレア講座、多角的にセントレアを見つめます。数多くの人々が、私たちの安全を守っていることを認識します。特に今年は、ヒアリ、豚コレラなど、水際対策の必要性を実感した年でした。参加者の意識も高く、有意義な講座となりました。 関係の皆様へ、深く感謝いたします。			
<受講者の声(実感した反応及びアンケートより)>(3~5点、計350字程度)			
普通では見ることのできない場所を見ることができてよかった。身近なセントレアにこんな場所があることを知らなかった。多様な環境配慮や安全対策が日々行われていることに驚いた。など、毎年聞かれる感想です。 こんなにも大変な検疫作業が行われているとは思わなかった。CIQの方々の仕事が大変過ぎ、予算・人の倍増をという意見まで飛び出した。今回は、ヒアリや豚コレラなど海外からの外来生物や感染症のニュースと重なったため、水際対策への関心が強かったように思います。 私たちの暮らしや環境は、多くの方々の地道なご努力によって支えられているということが伝わり、企画者としては嬉しいかぎりです。参加者の皆様の、積極的なご参加に感謝します。			